

● <u>総合英語Ⅱ (Fb)</u>	1
● <u>総合英語Ⅱ (P18)</u>	2
● <u>総合英語Ⅱ (Fa)</u>	3
● <u>総合英語Ⅱ (Fc)</u>	4
● <u>総合英語Ⅱ (Ld)</u>	5
● <u>総合英語Ⅱ (Lc)</u>	6
● <u>総合英語Ⅱ (P19)</u>	7
● <u>総合英語Ⅱ (Lf)</u>	8
● <u>総合英語Ⅱ (Kc)</u>	9
● <u>総合英語Ⅱ (Kd)</u>	10
● <u>総合英語Ⅱ (Le)</u>	11
● <u>総合英語Ⅱ (Ee)</u>	12
● <u>総合英語Ⅱ (Eh)</u>	13
● <u>総合英語Ⅱ (Eg)</u>	14
● <u>総合英語Ⅱ (Ef)</u>	15
● <u>総合英語Ⅱ (Lb)</u>	16
● <u>総合英語Ⅱ (La)</u>	17
● <u>総合英語Ⅱ (Ec)</u>	18
● <u>総合英語Ⅱ (Eb)</u>	19
● <u>総合英語Ⅱ (Ed)</u>	20
● <u>総合英語Ⅱ (Ea)</u>	21
● <u>総合英語Ⅱ (Tc)</u>	22
● <u>総合英語Ⅱ (Te)</u>	23
● <u>総合英語Ⅱ (Tj)</u>	24
● <u>総合英語Ⅱ (Ti)</u>	25
● <u>総合英語Ⅱ (D16・17)</u>	26
● <u>総合英語Ⅱ (M14)</u>	27
● <u>総合英語Ⅱ (Tb)</u>	28
● <u>総合英語Ⅱ (Ta)</u>	29
● <u>総合英語Ⅱ (M12)</u>	30
● <u>総合英語Ⅱ (M11)</u>	31
● <u>総合英語Ⅱ (Th)</u>	32
● <u>総合英語Ⅱ (Tg)</u>	33
● <u>総合英語Ⅱ (Kb)</u>	34
● <u>総合英語Ⅱ (Tf)</u>	35
● <u>総合英語Ⅱ (Ka)</u>	36
● <u>総合英語Ⅱ (M13)</u>	37
● <u>総合英語Ⅱ (Td)</u>	38
● <u>総合英語Ⅱ (M15)</u>	39

2010年度 後期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011004 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Fb) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) Fb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 香川 実成 / jissei@kwassui.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-822-4107 / 月曜日昼休み			
担当教員	香川 実成		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:日米文化の比較という身近なトピックについて書かれた英文パッセージを「読む」・「聴く」作業を通して、基本語彙力をベースとするリーディング能力、及びリスニング能力を身につける。また、TOEIC Part 5形式のアクティビティを通して、頻出文法パターンと TOEIC 語彙を身につける。 授業方法(学習指導法):予習を前提とする演習形式で授業を進める。 到達目標:①基本語彙については、「音」・「意味」・「スペリング」の3つを統合して使えるようになること、②リーディングについては、個々のセンテンスの(修飾関係の把握に基づく)構造理解のみならず、センテンス間の論理関係とパラグラフ構成にも意識を向けること、③リスニングについては、英語のリズム、結合・脱落といった現象を確認し、最終的には自分のスピーキングで同様のことを実践すること、④TOEIC Part 5の正解率アップー以上を目標とする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回・第15回は共通テストにあてる。 第2回～第14回は、教科書各チャプターのパッセージを材料として、そこで用いられている語彙力の習得、内容理解の確認を中心とするリーディング・アクティビティ、TOEIC Part 5形式の問題解答をおこなう。毎回、前の週に終えたユニットのリスニング・ディクテーション小テストをおこなう。 各回2つのチャプターをこなし、全24チャプターを半期で終了する。 第1回 10月4日 共通テスト 第2回 10月18日 Chapter 1: Physical Education & Chapter 2: Sports Clubs 第3回 10月25日 Chapter 3: Cultural Differences & Chapter 4: Haircuts 第4回 11月1日 Chapter 5: Music & Chapter 6: Money 第5回 11月8日 Chapter 7: Safety & Chapter 8: Life Expectancy 第6回 11月15日 Chapter 9: The Metric System & Chapter 10: Police 第7回 11月22日 Chapter 11: Seasons & Chapter 12: TV Sports 第8回 11月29日 Chapter 13: Business & Chapter 14: Jobs 第9回 12月6日 Chapter 15: NHK vs. PBS & Chapter 16: Marriage Ceremonies 第10回 12月13日 Chapter 17 American Culture & Chapter 18: International Marriage 第11回 12月20日 Chapter 19: Apartments & Chapter 20: Technology 第12回 1月17日 Chapter 21: School Rules & Chapter 22: Drinking 第13回 1月24日 Chapter 23: Entertaining & Chapter 24: Choice 第14回 1月31日 まとめ 第15回 2月7日 共通テスト 第16回目 2月14日 定期試験			
キーワード	異文化理解		
教科書・教材・参考書	Eye on America and Japan (『そのまま日米比較』) 南雲堂、2009年 教材:英語共通テスト(G-TELP)費用 750円		
成績評価の方法・基準等	共通テスト 20% 小テスト 30% 定期試験 50% 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	※水産学部総合英語Ⅱは、習熟度別クラスにて実施します。クラス分けは、事前に発表しますので、掲示をよくみておいてください。(英語コミュニケーションは、従来どおりのクラスです)。なお、第1回目の授業時にテストをしますので、必ず出席してください。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011003 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (P18) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) P18	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 井石 哲也 / iseki@kwassui.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-822-4107 (内線 257) / 活水女子大学井石研究室にて要確認			
担当教員	井石 哲也		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 英語読解養成および世界情勢の理解。 授業方法(学習指導法): 英字新聞を読みながら、英語文法、語彙、記事の背景知識を理解する。 到達目標: 使用テキスト(英字新聞の記事)の英文を1分間に120~130 wordsの速さの読解力を身につける。これを実際の新聞読解に役立て、情報や社会情勢等を分析的に理解する力を養成することを目指す。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回~第15回は各回のトピックに従って英文の読解演習を行い、第16回目2月14日に定期試験を実施する。 第1回 10月4日 導入、 テキスト: Cool it! (以下各回のトピックを示す) 第2回 10月18日 Ready for Inauguration 第3回 10月25日 Shopping Made Easy 第4回 11月1日 You be the Judge 第5回 11月8日 Tourism Nation 第6回 11月15日 Vanishing Vendors 第7回 11月22日 "Very" Experienced Announcers 第8回 11月29日 Paradise Lost 第9回 12月6日 Organ TransPRINT 第10回 12月13日 Old Tricks Never Die 第11回 12月20日 Digital Brain 第12回 1月17日 Engineering Fever 第13回 1月24日 Yes, We Can Change! 第14回 1月31日 Spiritual Bar 第15回 2月7日 Eureka! 第16回目2月14日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Insights 2010 (Kinseido, 2010)		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験70点、授業における発表と取り組み30点の配点とする。】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 月3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011002 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Fa) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) Fa	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 俊明 / t-nishi@nagasaki-u.ac.jp / / 095-819-2095 / 火曜日 12:50～13:30 他は、only by appointment			
担当教員	西原 俊明		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。 授業方法(学習指導法): 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBC などの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。 到達目標: 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第 1 回 10月4日 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明 第 2 回 10月18日 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1) 第 3 回 10月25日 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1) 第 4 回 11月1日 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading) 第 5 回 11月8日 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading) 第 6 回 11月15日 弱く発音される音, 速読(phrase reading) 第 7 回 11月22日 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1) 第 8 回 11月29日 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2) 第 9 回 12月6日 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(3) 第 10 回 12月13日 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4) 第 11 回 12月20日 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading) 第 12 回 1月17日 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading) 第 13 回 1月24日 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6) 第 14 回 1月31日 英語の音のその他の特徴(prosodic features を中心として), グループによるディスカッション(2) 第 15 回 2月7日 Review			
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化		
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト 速読教材としては、各種英字新聞から環境、水産資源、生物に関わる話題を精選し、教材とする。 教材：英語共通テスト (G-TELP)費用 750 円		
成績評価の方法・基準等	共通テスト(G-TELP)(20%)、小テスト(70%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。 平成 22 年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を 80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を 20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	※水産学部総合英語Ⅱは、習熟度別クラスにて実施します。クラス分けは、事前に発表しますので、掲示をよくみておいてください。(英語コミュニケーションは、従来どおりのクラスです)。なお、第 1 回目の授業時にテストをしますので、必ず出席してください。 新たに学習する内容は、きちんと復習すること！		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。		
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の 15 回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より 1 回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011001 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Fc) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) Fc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小笠原 真司 / ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 1階 / 095-819-2094 / 木3 金3 金5			
担当教員	小笠原 真司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: このクラスは、現代世界がかかえている最近の健康問題や食品問題を学びながら、英語リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。</p> <p>授業方法(学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストは、その場で読んでもらい大意を取る練習をするのと同時に、細かな部分は家庭で精読してもらいます。指定された範囲をきちんと読んで、予習しておくことも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得の充実を図ります。</p> <p>到達目標: テキストの英語を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキスト中の Words and Phrases 約計 400 語を確実に意味がわかるように修得します。また、TOEIC 形式の文法問題を解き、構文の基本を修得します。</p>			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについている CD を使いながら学習してきてください。成績の 20%は、この小テストにて評価されます。その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。この教材は、家庭でさらに精読してきてもらいます。次回の授業において、その精読の確認を行います。</p> <p>またプリント教材を用いて、リスニングの練習をします。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>第 1 回 オリエンテーション プリテスト 第 2 回 Unit 2. WHO: Bird Flu May Have Passed Between Siblings 第 3 回 Unit 3. Foreign Staff Get OK for Emergency Training 第 4 回 Unit 4. Two Lanbuages Help to Keep the Mind Young 第 5 回 Unit 5. Experts Will Feed Infected Brains to Cows 第 6 回 Unit 7. Tea Drinking May Protect Against Alzheimer's Disease 第 7 回 Unit 8. Melatonin May Help Lower High Blood Pressure 第 8 回 Unit 9. Fat Kids Singled Out for Extra Exercise 第 9 回 Unit 10. Air Worse in Smoky Bars Than on Truck-choked Roads 第 10 回 Unit 11. Church Candles and Incense Pose Health Risks 第 11 回 Unit 12. How Much Water is Enough During Exrecise? 第 12 回 Unit 13. Woman Listed as World's Oldest Person Dies in Puerto Rico at 114 第 13 回 Unit 14. Losing the Baby Fat with Fitness Classes 第 14 回 Unit 15. Chinese May Have Been Fermenting Drinks 9,000 Years Ago 第 15 回 ポストテスト (共通英語テスト(G-TELP)) 語彙のまとめ 第 16 回(2011年 2 月 14 日) 定期試験</p>			
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Health and Nutrition News (金星堂) (CD付) 1,850 円(第 1 回目の授業時に教室にて販売します) 教材: プリント教材 毎回配布します。英語共通テスト(G-TELP)費用 750 円		
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験 60%、毎回の小テスト 10%、授業中の発表 10%、共通ポストテスト(G-TELP)20%で行います。		
受講要件(履修条件)	※水産学部総合英語Ⅱは、習熟度別クラスにて実施します。クラス分けは、事前に発表しますので、掲示をよくみておいてください。(英語コミュニケーションは、従来どおりのクラスです)。なお、第 1 回目の授業時にテストをしますので、必ず出席してください。 全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ	/学習・教育目標		
備考(準備学習等)	平成 22 年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を 80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を 20%とし、総合的に行なわれます。G-TELP のテストは、原則として授業の 15 回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より 1 回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011008 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Ld) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) Ld	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山崎 有介 / pro-1223@ngs2.cncm.ne.jp / 非常勤講師室 / / 授業終了時			
担当教員	山崎 有介		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 英語の文法を把握した上で、学習者が何の躊躇いもなく英字新聞を読みこなせるようになることが目的である。英字新聞独特の表現やルールを学習し、通常の英文との比較を試みながら授業に臨んでほしい。 授業方法(学習指導法): 毎回短い英文記事を読み、語彙・語法を指導する。また、Exercise で応用に挑戦し、自ら英文記事を書けるようにする。 到達目標: 無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEIC や英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 毎回 2 つの Lesson を進む。英文記事の読み方、語彙・文法事項の確認、学習習得度を測る意味での Exercise を繰り返すものとする。			
第 1 回 オリエンテーション：授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ 第 2 回 見出しの文法/見出しの語法(1): 頭文字語と短い語 第 3 回 見出しの語法(2): コンマ見出しの語法/(3): コロン 第 4 回 見出しの語法(4): セミコロンと引用符/見出しの語法(5): ペリオドと縮約語 第 5 回 見出し語の語法(6): アポストロフィと冠詞/見出しの語法(7): 前置詞・記号 第 6 回 見出しの文法: 総合復習/見出しの語法: 総合復習 第 7 回 複雑な見出し(1): 複数の「動詞」と品詞/複雑な見出し(2): 多義語と名詞句 第 8 回 中間としてのまとめ (テストを含む) 第 9 回 見出しの未知語(1): 頭文字語など/見出しの未知語(2): 推測 第 10 回 書き出しの構造(1): 5W1H/書き出しの構造(2): 情報源の表し方 第 11 回 書き出しの文法(1): 主部の修飾関係/書き出しの文法(2): 関係詞 第 12 回 書き出しの文法(3): 分詞の形容詞的用法/書き出しの文法(4): 分詞構文 第 13 回 学習方略(1): 見出しからの推測読み/学習方略(2): 同じ話題を複数の新聞で読む 第 14 回 学習方略(1): 日英記事比較読みで語彙力増強/学習方略(1): 二度読みで弱点チェック 第 15 回 全体のまとめ 第 16 回目 2月8日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	How to Read Newspaper Headlines New Edition (Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等	教員の評価分【○定期試験 50%、中間試験 30%、小試験 10%、授業への姿勢(予習・発言・質問)10%】 平成 22 年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を 80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を 20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の 15 回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より 1 回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011007 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Lc) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) Lc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤本 ゆかり / / 非常勤講師室 / 095-819-2078 (全学教育事務室) / 火曜日 2時30分より			
担当教員	藤本 ゆかり		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 世界の様々な文化や分野における、新旧の個性豊かな人々について書かれた英文を通読し、人類の優れた知恵や思想を学ぶ。科学技術の急激な発達の中にある今こそ、改めて人類の叡智に触れることにより、教養を高め、自己を磨く一助とする。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来教員を目指す学生の皆さんには重要且つ必要不可欠です。英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理 授業方法(学習指導法): 予習を充分に行ってきた上で、英文の内容についての意見を発表する。英文を精読し、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようになる。テキストの練習問題により、説明と指導を行いながら、語彙と文法事項の定着を図り、また、リスニングの能力を養う。テキストのテーマについて、意見を述べ、或いは討論し、自らの考えを深める。テーマについては、様々な資料等を用いて紹介する。世界の様々な人物や出来事に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また 到達目標: 世界の様々な人物や出来事に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) テキストの題材は文系と理系を問わず多岐にわたり、読みやすく興味深いものである。毎回、十分な予習を前提とした上で、テーマについての意見を発表する。或いは意見を交換し合う。資料を示して、それらの考察を行う。 テキストの英文を精読や速読を行い、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び英文理解の方法や技術を指導する。本文の内容理解をチェックするための Exercises を解き、その中で語彙や文法事項、またリスニングの指導と解説をする。 発表の場を、教職に就くことを意識しての大切なプレゼンテーションの機会と捉え、入念な準備をして臨んで下さい。(評価の対象ともなります。) また、教育学部で学ぶにあたり、書物を多く読み、各方面における教養を身に付けておきましょう。			
第1回 10月 5日 導入・授業内容の説明 第2回 10月12日 Ch. 1 環境の伝説的スピーチ 第3回 10月19日 Ch. 2 児童強制労働廃止に立ち上がった少年 第4回 10月26日 Ch. 3 地雷問題の現状 第5回 11月2日 Ch. 4 ケネディー大統領就任演説 第6回 11月9日 Ch. 4 ケネディー大統領就任演説 第7回 11月16日 Ch. 5 アインシュタイン博士 第8回 11月30日 Ch. 6 ノーベル平和賞受賞演説 第9回 12月 7日 Ch. 7 「今日は死ぬのにもってこいの日」 第10回 12月14日 Ch. 8 3人の哲学者の言葉 第11回 12月21日 Ch. 9 コスモス わたしたちは星の子 第12回 1月11日 Ch. 10 『モモ』 第13回 1月18日 Ch. 11 『星の王子さま』 第14回 1月25日 Ch. 11 『星の王子さま』 第15回 2月 1日 Ch. 12 『ピーターパン』 第16回目 2月8日 定期試験			
キーワード	リーディング・スキルの向上 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに		
教科書・教材・参考書	Read and Think: 12 Inspiring Messages 『輝ける言葉 ～ 心に残る12章』 (岩永道子他: 朝日出版社) 英和辞典(電子辞書)を携帯すること。		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10~20%を基準とします。また、授業態度を非常に重視しますので、注意しましょう。】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	リーディング・スキルを向上させる。 英語のリーディングスキルを養い、定着を図る。生きる知恵を学び、自らの人生に役立てる。		
備考(準備学習等)	授業には、必ず予習をして臨んで下さい。予め英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。 G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011006 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (P19) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) P19	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 川島 浩勝 / / 長崎外国語大学 3階 334 研究室 / 095-840-2000 (内線 334) / 授業終了後、質問を受けつける。 また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。			
担当教員	川島 浩勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
ねらい: 「総合英語Ⅱ」における学習成果を基に、英語のリスニングとリーディングにおけるより高度な情報処理能力を身につける。			
授業方法(学習指導法): 様々なタスクを用い、リスニングとリーディングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己の英語力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングとリーディングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。			
到達目標: 本授業の到達目標は、1) より高度な内容の口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2) 語彙力のアップ、3) コンテキストがある場合、英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4) リスニングのスピードでより難しい文の処理・理解ができるようになる、5) より難しい英文の音読ができる、である。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第1回: 授業方針の説明・英語力診断テスト			
第2回～第7回: 90分授業を大まかに下記の4つのパートに分け授業を行う。 A: Extensive Listening 1 (アメリカの家族生活を題材とした DVD: Level 3) B: 語彙力アップ(Level 3) C: コンテキスト付きミニマルペアーの識別練習 D: 文法・意味レベルにおける文理解			
第8回: 授業内容 A)～D) のまとめ・リスニング力把握テスト(1)			
第9回～第14回: 90分授業を大まかに下記の4つのパートに分け授業を行う。 E: Extensive Listening 2 (アメリカの家族生活を題材とした DVD: Level 4) F: 語彙力アップ(Level 4) G: ストーリー・リスニング&リーディング (Level 2) H: G の内容理解およびその音読			
第15回: 授業内容 E)～H) のまとめ・リスニング力把握テスト(2) 第16回: 定期試験(8月3日)			
第1回 2010.4.13 授業方針の説明・英語力診断テスト			
第2回 2010.4.20 上記の授業内容 (A-D)			
第3回 2010.4.27 上記の授業内容 (A-D)			
第4回 2010.5.11 上記の授業内容 (A-D)			
第5回 2010.5.18 上記の授業内容 (A-D)			
第6回 2010.5.25 上記の授業内容 (A-D)			
第7回 2010.6.1 上記の授業内容 (A-D)			
第8回 2010.6.8 授業内容 A)～D) のまとめ・リスニング力把握テスト(1)			
第9回 2010.6.15 上記の授業内容 (E-H)			
第10回 2010.6.22 上記の授業内容 (E-H)			
第11回 2010.6.29 上記の授業内容 (E-H)			
第12回 2010.7.6 上記の授業内容 (E-H)			
第13回 2010.7.13 上記の授業内容 (E-H)			
第14回 2010.7.20 上記の授業内容 (E-H)			
第15回 2010.7.27 授業内容 E)～H) のまとめ・リスニング力把握テスト(2)			
第16回: 定期試験(8月3日)			
キーワード	リスニング・語彙力・ミニマルペアー・リーディング・文理解・音読		
教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等	教員評価分【定期考査70%・小テスト10%・レポート20%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011005 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Lf) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) Lf	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 稲毛 逸郎 / inage@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部 6F 618 研究室 / 095-819-2093 / 水曜日 16:10~17:40			
担当教員	稲毛 逸郎		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 高等学校までの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。 到達目標: 英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Unit 1 Slice, Dice and Play Scanning のスキルについて 第2回 Unit 2 Saving Traditional Food Using Titles to Understand Main Ideas (Gist) 第3回 Unit 3 The Basket Project Skimming for the Main Idea 第4回 Unit 4 The "Mods" and "Rockers" Recognizing Sequence of Events 第5回 Unit 5 Winning the Golden Ticket Identifying Main Ideas within Paragraphs (1) 第6回 Unit 6 Great Lady of Nazca Predicting のスキル 第7回 Unit 7 Who's Smarter Inferring のスキル 第8回 Unit 8 Ofr Walls and Eggs Identifying Main and Supporting Ideas 第9回 Unit 9 Vertical Farming Understanding Main Ideas (Gist) 第10回 Unit 10 Is It Dance or Martial Art? Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2) 第11回 Unit 11 The Ubiquitous Bow Developing Reading Fluency (1) 第12回 Unit 12 How Do You Start? Developing Reading Fluency (2) 第13回 Unit 13 People on the Move Developing Reading Fluency (3) 第14回 Unit 14 Hot Coffee, Please! Developing Reading Fluenvy (4) 第15回 授業のまとめ 第16回目 2月8日 定期試験			
キーワード	英語の4技能、総合的訓練		
教科書・教材・参考書	Reading Wizard 金星堂		
成績評価の方法・基準等	教員評価分【期末試験(70%)、毎回実施の小テスト(10%)、授業での活動に対する積極的な取り組み状況(10%)を基準に評価する。】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	既習外国語		
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011011 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Kc) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) Kc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中村 吏花 / arthur410@hotmail.co.jp / 非常勤講師室 / / 水曜昼休み			
担当教員	中村 吏花		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 速読、精読を意識して行う。高校までに学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認する。 新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。 英語の4技能を総合的に向上させる。速読・精読を意識して行う。 授業方法(学習指導法): 必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。 テキスト付属のCDを活用して英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。 授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。 到達目標: 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取る事ができる。 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解する事ができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。 授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめないときは、何がわからないのかを明らかにさせてきてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。 *教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。それより遅い入室は欠席扱いとします。			
第1回 2010/10/6 Introduction 第2回 2010/10/13 Daisies(1) 第3回 2010/10/20 Daisies(2) 第4回 2010/10/27 Sentence(1) 第5回 2011/11/10 Sentence(2) 第6回 2010/11/17 Pattern(1) 第7回 2010/11/24 Pattern(2) 第8回 2010/12/1 Review 第9回 2010/12/8 Solipsist(1) 第10回 2010/12/15 Solipsist(2) 第11回 2010/12/22 Preposterous(1) 第12回 2011/1/12 Preposterous(2) 第13回 2011/1/19 Reconciliation(1) 第14回 2011/1/26 Reconciliation(2) 第15回 2011/2/2 Review 第16回 2011/2/9 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	高本孝子『Let's Enjoy SF Short-Shorts』(開文社出版、2010年) 1785円 *必ずテキスト本体を入手して出席して下さい。テキストのない人の受講を認めません。 教材: 英語共通テスト (G-TELP)費用 750円		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験 65%、課題 15%、積極的な授業への参加状況 20%(出席点はありません)】 *一度も本文の内容説明をしなかった人は「積極的な授業への参加状況」の配点が0点となります。】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	※環境科学部総合英語Ⅱは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを1回目を実施しますので、かならず1回目の授業に出席してください(1回目は、前期と同様に、Kcのクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、水の1校時のどちらかのクラスになります(英語コミュニケーションは、従来どおりのクラスです)。 ※3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。		
本科目の位置づけ	/学習・教育目標		
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011010 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Kd) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) Kd	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスマワー 稲富 百合子 / inadomi@fukuoka-u.ac.jp / 非常勤講師室 / / 授業の前後、またはメールにて受け付けます。			
担当教員	稲富 百合子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: この授業では、日本人が共通してよく間違える英語の文法事項や同意語の使い分けなどをテーマとしたエッセイを読み進めながら、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を高めることを目指します。 授業方法(学習指導法): 授業の前半ではリーディングを中心に、後半では本文に出てきた構文やイディオムを参考にし、英作文やリスニングの問題を中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。 到達目標: (1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニット半～2ユニットを進めることを進度の目安にしてください。本文の内容について True / False 形式で確認します。各ユニットに収められているリスニングの練習問題や英作文の練習問題を通して、語句の使い方などを理解し、弱点を克服していきます。 第1回目の授業ではプリント教材を使用します。 第2回目から以下のようにテキストを進めていきます。 第2回～第4回 Chapter 1: Using Japanese English Correctly 1. step up / level up 2. minus ion 3. rehouse / rebuild / remodel 4. cunning / cheating 5. goods / merchandise 第5回～第7回 Chapter 2: Common Mistakes Japanese People Make 1. I bought my coat. 2. persons / people 3. go to shopping / go shopping 4. Are you okay? / Is that okay? 5. drink medicine 第8回～第10回 Chapter 3: Essential Grammar Points 1. will / going to 2. should / had better 3. a / an / the 4. Business English 5. all of us / none of us 第11回～第12回 Chapter 4: Basic Phrasal Verbs 1. take back 2. find out / put off / make it 3. run out / use up 4. sign in / sign up / sign out 5. work out 第13回～第15回 Chapter 5: How Similar Words are Different 1. after / later 2. cost / price / fee / fare / toll 3. angry / mad / upset 4. baggage / luggage 5. chance / opportunity 第1回 10月6日 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明) 英語の文章構成について(プリント教材) 第2回 10月13日 Chapter 1: Using Japanese English Correctly (和製英語の正しい使い方) 第3回 10月20日 Chapter 1 つづき 第4回 10月27日 Chapter 1 つづき 第5回 11月10日 Chapter 2: Common Mistakes Japanese People Make (日本人がよくする間違い) 第6回 11月17日 Chapter 2 つづき 第7回 11月24日 Chapter 2 つづき 第8回 12月1日 Chapter 3: Essential Grammar Points (重要な文法項目) 第9回 12月8日 Chapter 3 つづき 第10回 12月15日 Chapter 3 つづき 第11回 12月22日 Chapter 4: Basic Phrasal Verbs (基本的な句動詞) 第12回 1月12日 Chapter 4 つづき 第13回 1月19日 Chapter 5: How Similar Words are Different (似ている言葉の違う点) 第14回 1月26日 Chapter 5 つづき 第15回 2月2日 まとめ 第16回 2月9日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	More Odds & Ends -Essays on everyday conversaytion・(成美堂) 1,700円(税別) *授業には必ず辞書を持参して下さい。教材:英語共通テスト(G-TELP)費用 750円		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験60%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)30%、小テスト10%とし、総合的に評価します。】 ※平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	注意)環境科学部総合英語Ⅱは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを1回目に実施しますので、かならず1回目の授業に出席してください(1回目は、前期と同様に、Kdのクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、水の1校時のどちらかのクラスになります(英語コミュニケーションは、従来どおりのクラスです)。		
本科目の位置づけ	/学習・教育目標		
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011009 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Le) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 227	
対象学生(クラス等) Le	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 小笠原 真司 / ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 1階 / 095-819-2094 / 木3 金3 金5			
担当教員	小笠原 真司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: このクラスは、現代世界がかかえている最新の食品や健康問題を学びながら、英語リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。 授業方法(学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストは、その場で読んでもらい大意を取る練習をするのと同時に、細かな部分は家庭で精読してもらいます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してくることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得の充実を図ります。 到達目標: テキストの英語を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキスト中の Words and Phrases 計 400語を確実に意味がわかるように修得します。また、プリント教材によるリスニングの訓練も行い、歌の歌詞等の英語が聞き取れるようにします。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについている CD を使いながら学習してきてください。成績の 20%は、この小テストにて評価されます。 その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。この教材は、家庭でさらに精読してきてもらいます。次回の授業において、その精読の確認を行います。 またプリント教材を用いて、リスニングの練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。			
第 1 回 オリエンテーション Unit 1. Mt. Everest Trash Turned Into Other Men's Treasure 第 2 回 Unit 2. Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans 第 3 回 Unit 3. Zambian Children Get Their Education Over the Radio 第 4 回 Unit 4. Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee 第 5 回 Unit 5. U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce 第 6 回 Unit 6. Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace 第 7 回 Unit 7. Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work 第 8 回 Unit 8. Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts 第 9 回 Unit 9. Palestinian Rappers Fight Occupation With Music, Not Bombs 第 10 回 Unit 10. Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air 第 11 回 Unit 11. Start of School Year Signals Progress for Afghanistan 第 12 回 Unit 12. Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World's Best 第 13 回 Unit 13. U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon 第 14 回 Unit 14. Environmentalists Offer Tips for Happy Green Holidays 第 15 回 Unit 15. Old Peruvian Music Gets a High-Tech Rebirth および G-TELP テスト 第 16 回目(2011年2月9日) 定期試験			
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Messages to Our Future (金星堂) (CD付) 1,900円(第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【○定期試験 60%、G-TELP20%、毎回の小テスト 10%、授業中の発表 10%で行います。】平成 22 年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を 80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を 20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ	/学習・教育目標		
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の 15 回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より 1 回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011017 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Ee) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) Ee	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中村 吏花 / arthur410@hotmail.co.jp / 非常勤講師室 / / 水曜昼休み			
担当教員	中村 吏花		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 速読、精読を意識して行う。高校までに学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。 授業方法(学習指導法): 英文解釈や英文音読など毎回無作為に指名して発表してもらう。テキスト付属のCDを活用して、英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。重要文法事項を解説する。 到達目標: 基本的な文法・構文・表現方法を習得する。英語と日本語の違いを知り、英文の語順のまま、内容を理解できる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。 授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめないときは、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。 *教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。それより遅い入室は欠席扱いとします。 第1回 2010/10/6 Introduction 第2回 2010/10/13 Beware of D-Ficiency 第3回 2010/10/20 Cancer: the World's Leading Killar? 第4回 2010/10/27 Vertical Farms to the Rescue 第5回 2010/11/10 Review 第6回 2010/11/17 No-Smoking City 第7回 2010/11/24 Hot Weather Can Be a Headache 第8回 2010/12/1 No Water? No Problem! 第9回 2010/12/8 Newspaper 第10回 2010/12/15 Review 第11回 2010/12/22 What is the Asian Flush? 第12回 2011/1/12 How Green is My Rooftop? 第13回 2011/1/19 Mapping African Soil 第14回 2011/1/26 Newspaper 第15回 2011/2/2 Review			
キーワード			
教科書・教材・参考書	安浪誠祐『VOAで知る健康と環境』(松柏社、2010年)1995円 *必ずテキスト本体を入手して出席してください。テキストのない人の受講を認めません。		
成績評価の方法・基準等	教員評価分【定期試験65%、課題15%、積極的な授業への参加状況20%(出席点はありません)】 *一度も本文の内容説明をしなかった人は「積極的な授業への参加状況」の配点が0点となります。 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011016 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Eh) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 総合英語Ⅱ Eh	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 古場 なおみ / kobaknke@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室にて授業の前後			
担当教員	古場 なおみ		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: (1) 世界からの身近なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2) アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。</p> <p>授業方法(学習指導法): 講義形式でテキストを進める。</p> <p>到達目標: 国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>第1回 10月6日 自己紹介、授業の進め方、評価等の説明</p> <p>第2回 10月13日 ABC World News 11 テレビニュース英語について、Unit 2</p> <p>第3回 10月20日 ABC World News 11 Unit 2</p> <p>第4回 10月27日 ABC World News 11 Unit 3</p> <p>第5回 11月10日 ABC World News 11 Unit 3, 4</p> <p>第6回 11月17日 ABC World News 11 Unit 4</p> <p>第7回 11月24日 ABC World News 11 Unit 6</p> <p>第8回 12月1日 ABC World News 11 Unit 6,7</p> <p>第9回 12月8日 ABC World News 11 Unit 7</p> <p>第10回 12月15日 ABC World News 11 Unit 8</p> <p>第11回 12月22日 ABC World News 11 Unit 8, 10</p> <p>第12回 1月12日 ABC World News 11 Unit 10</p> <p>第13回 1月19日 ABC World News 11 Unit 12</p> <p>第14回 1月26日 ABC World News 11 Unit 12, 14</p> <p>第15回 2月2日 ABC World News 11 Unit 14</p> <p>第16回目 2月9日 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	ABC World News 11 (Kinseido)		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験 70% 課題、出席、授業への積極的な取り組み等 30%】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011015 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Eg) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) Eg	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大坪 有実 / r_otsubo@hotmail.co.jp / 非常勤講師控室 / / 水曜日 12:00~12:50 非常勤講師控室			
担当教員	大坪 有実		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:英語の4技能 読む・書く・聞く・話すのうち、読む・聞くことに重点を置き、論説文、説明文、物語文のパラグラフ構成型、展開型を理解し、英文に応じた読み分けができることをねらいとする。 授業方法(学習指導法):主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。 到達目標:・論説文、説明文、物語文のパラグラフ構成・展開の違いが分かり、説明できる。 ・英文に応じたパラグラフリーディングができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 全体は大きく分けて前半と後半からなる。 授業の前半では、英文には様々な種類(物語文、説明文、論説文)があること、また、それぞれの英文への読解のアプローチ法を学び、そのアプローチで英文を精読する。 授業の後半では、リスニングを行い、5W1Hを押さえて、何が話されているかつかむ。 第1回 10月6日 教科書販売 ・ Introduction 第2回 10月13日 Slice, Dice and Play 第3回 10月20日 Saving Traditional Food 第4回 10月27日 The Basket Project 第5回 11月10日 The "Mods" and "Rockers" 第6回 11月17日 Winning the Golden Ticket 第7回 11月24日 Great Lady of Nazca 第8回 12月1日 Who's Smarter? 第9回 12月8日 Of Walls and Eggs 第10回 12月15日 Vertical Farming 第11回 12月22日 Is It Dance or Martial Art? 第12回 1月12日 The Ubiquitous Bow 第13回 1月19日 How Do You Start? 第14回 1月26日 People on the Move 第15回 2月2日 Hot Coffee, Please! 第16回 2月9日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Reading Wizard 金星堂 ￥1,800+税		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験 60点 授業中の課題に対する積極的な取組状況 10点 小テスト及び出席状況 30点】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011014 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Ef) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) Ef	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 稲富 百合子 / inadomi@fukuoka-u.ac.jp / 非常勤講師室 / / 授業の前後、またはメールにて受け付けます。			
担当教員	稲富 百合子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法) / 授業到達目標 ねらい: この授業では、日本人が共通してよく間違える英語の文法事項や同意語の使い分けなどをテーマとしたエッセイを読み進めながら、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を高めることを目指します。 授業方法(学習指導法): 授業の前半ではリーディングを中心に、後半では本文に出てきた構文やイディオムを参考に、英作文やリスニングの問題を中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。 到達目標: (1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニット半～2ユニット進めることを進度の目安にしてください。本文の内容について True / False 形式で確認します。各ユニットに収められているリスニングの練習問題や英作文の練習問題を通して、語句の使い方などを理解し、弱点を克服していきます。 第1回目の授業ではプリント教材を使用します。 第2回目から以下のようにテキストを進めていきます。 第2回～第4回 Chapter 1: Using Japanese English Correctly 1. step up / level up 2. minus ion 3. rehouse / rebuild / remodel 4. cunning / cheating 5. goods / merchandise 第5回～第7回 Chapter 2: Common Mistakes Japanese People Make 1. I bought my coat. 2. persons / people 3. go to shopping / go shopping 4. Are you okay? / Is that okay? 5. drink medicine 第8回～第10回 Chapter 3: Essential Grammar Points 1. will / going to 2. should / had better 3. a / an / the 4. Business English 5. all of us / none of us 第11回～第12回 Chapter 4: Basic Phrasal Verbs 1. take back 2. find out / put off / make it 3. run out / use up 4. sign in / sign up / sign out 5. work out 第13回～第15回 Chapter 5: How Similar Words are Different 1. after / later 2. cost / price / fee / fare / toll 3. angry / mad / upset 4. baggage / luggage 5. chance / opportunity 第1回 10月6日 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明) 英語の文章構成について(プリント教材) 第2回 10月13日 Chapter 1: Using Japanese English Correctly (和製英語の正しい使い方) 第3回 10月20日 Chapter 1 つづき 第4回 10月27日 Chapter 1 つづき 第5回 11月10日 Chapter 2: Common Mistakes Japanese People Make (日本人がよくする間違い) 第6回 11月17日 Chapter 2 つづき 第7回 11月24日 Chapter 2 つづき 第8回 12月1日 Chapter 3: Essential Grammar Points (重要な文法項目) 第9回 12月8日 Chapter 3 つづき 第10回 12月15日 Chapter 3 つづき 第11回 12月22日 Chapter 4: Basic Phrasal Verbs (基本的な句動詞) 第12回 1月12日 Chapter 4 つづき 第13回 1月19日 Chapter 5: How Similar Words are Different (似ている言葉の違う点) 第14回 1月26日 Chapter 5 つづき 第15回 2月2日 まとめ 第16回 2月9日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	More Odds & Ends -Essays on everyday conversaytion - (成美堂) 1,700円(税別) *授業には必ず辞書を持参して下さい。		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験60%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)30%、小テスト10%とし、総合的に評価します。】 ※平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011013 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Lb) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) Lb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 俊明 / t-nishi@nagasaki-u.ac.jp / / 095-819-2095 / 火曜日 12:50~13:30 他は、only by appointment			
担当教員	西原 俊明		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。 授業方法(学習指導法): 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBC などの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。 到達目標: 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第1回 10月6日 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明 第2回 10月13日 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1) 第3回 10月20日 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1) 第4回 10月27日 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading) 第5回 11月10日 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading) 第6回 11月17日 弱く発音される音、速読(phrase reading) 第7回 11月24日 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1) 第8回 12月1日 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2) 第9回 12月8日 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、映画による聞き取り(3) 第10回 12月15日 グループによるディスカッション(1)、映画による聞き取り(4) 第11回 12月22日 ひとつになる音、インフォメーションギャップによるペアワーク(3)、速読(phrase reading) 第12回 1月12日 つながる音、映画による聞き取り(5)、速読(phrase reading) 第13回 1月19日 なくなる音、速読(phrase reading)、映画による聞き取り(6) 第14回 1月26日 英語の音のその他の特徴(prosodic features を中心として)、グループによるディスカッション(2) 第15回 2月2日 Review			
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化		
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト		
成績評価の方法・基準等	教員評価分【まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。 英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。		
備考(準備学習等)	Plain English のプリント教材を復習し、小テストに備えること。 G-TELP のテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011012 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (La) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 227	
対象学生(クラス等) La	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 小笠原 真司 / ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 1階 / 095-819-2094 / 木3 金3 金5			
担当教員	小笠原 真司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: このクラスは、現代世界がかかえている環境問題や最新の食品問題を学びながら、英語リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。 授業方法(学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストは、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、細かな部分は家庭で精読してもらいます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してくることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得の充実を図ります。 到達目標: テキストの英語を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定された Key Word 約 200 語およびテキスト中の Words and Phrases 約 200 語の計 400 語を確実に意味がわかるように修得します。また、テキスト中にある TOEIC 形式の文法問題を解き、構文の基本を修得します。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについている CD を使いながら学習してきてください。成績の 20% は、この小テストにて評価されます。その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。この教材は、家庭でさらに精読してきてもらいます。次の授業において、その精読の確認を行います。 またプリント教材を用いて、リスニングの練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。 第 1 回 オリエンテーション Unit 1. Scientists Zap Coral Reefs With Electricity to Save Them 第 2 回 Unit 2. Humble' Potato Emerging as World's Next Food Source 第 3 回 Unit 3. Offices Use Ice to Cool Down and Save Power 第 4 回 Unit 4. Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's 第 5 回 Unit 5. Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property 第 6 回 Unit 6. College Students Feel Better After Screaming Together 第 7 回 Unit 7. Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers 第 8 回 Unit 8. Smoking Bans Could Cut Into Cuban Cigar Sales 第 9 回 Unit 9. Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water 第 10 回 Unit 10. Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies 第 11 回 Unit 11. African Farmers Seek Ways to Survive Droughts 第 12 回 Unit 12. Fruity Cocktails May be Good for Health 第 13 回 Unit 13. Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate 第 14 回 Unit 14. Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating 第 15 回 Unit 15. Planned Chinese City Wants All Eco-Friendly Power 第 16 回 定期試験 (2011 年 2 月 9 日)			
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Healing Our World (南雲堂) (CD付) 1,800 円(第 1 回目の授業時に教室にて販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【○定期試験 70%、毎回の小テスト 20%、授業中の発表 10%で行います。】 平成 22 年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を 80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を 20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の 15 回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より 1 回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水3	必修選択 必	単位数 1																																																
授業コード 20100590011021 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Ec) Comprehensive English II																																																		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401																																																	
対象学生(クラス等) Ec	科目分類 外国語科目																																																		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中村 吏花 / arthur410@hotmail.co.jp / 非常勤講師室 / / 水曜昼休み																																																			
担当教員	中村 吏花																																																		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: コミュニケーションだけでなく、TOEICやTOEFLなどにも役立つ基本的な文法を身に付ける。 新出語句や表現を習得する。リスニング・リーディング練習をバランスよく行い、英語の音声・英文の構造に慣れる。 速読・精読を意識して行う。 授業方法(学習指導法): 必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。 テキスト付属のCDを活用して英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。 授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。 到達目標: 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取る事ができる。 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解する事ができる。																																																			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。 授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめないときは、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。 *教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。それより遅い入室は欠席扱いとします。																																																			
<table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>2010/10/6</td> <td>Introduction</td> <td>第2回</td> <td>2010/10/13</td> <td>Human Body(1)</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>2010/10/20</td> <td>Human Body(2)</td> <td>第4回</td> <td>2010/10/27</td> <td>History</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>2011/11/10</td> <td>Review</td> <td>第6回</td> <td>2010/11/17</td> <td>Clothing</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>2010/11/24</td> <td>Food(1)</td> <td>第8回</td> <td>2010/12/1</td> <td>Food(2)</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>2010/12/8</td> <td>Review</td> <td>第10回</td> <td>2010/12/15</td> <td>Literature</td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>2010/12/22</td> <td>Weather</td> <td>第12回</td> <td>2011/1/12</td> <td>Science</td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>2011/1/19</td> <td>Finance</td> <td>第14回</td> <td>2011/1/26</td> <td>Newspaper</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>2011/2/2</td> <td>Review</td> <td>第16回</td> <td>2011/2/9</td> <td>定期試験</td> </tr> </table>				第1回	2010/10/6	Introduction	第2回	2010/10/13	Human Body(1)	第3回	2010/10/20	Human Body(2)	第4回	2010/10/27	History	第5回	2011/11/10	Review	第6回	2010/11/17	Clothing	第7回	2010/11/24	Food(1)	第8回	2010/12/1	Food(2)	第9回	2010/12/8	Review	第10回	2010/12/15	Literature	第11回	2010/12/22	Weather	第12回	2011/1/12	Science	第13回	2011/1/19	Finance	第14回	2011/1/26	Newspaper	第15回	2011/2/2	Review	第16回	2011/2/9	定期試験
第1回	2010/10/6	Introduction	第2回	2010/10/13	Human Body(1)																																														
第3回	2010/10/20	Human Body(2)	第4回	2010/10/27	History																																														
第5回	2011/11/10	Review	第6回	2010/11/17	Clothing																																														
第7回	2010/11/24	Food(1)	第8回	2010/12/1	Food(2)																																														
第9回	2010/12/8	Review	第10回	2010/12/15	Literature																																														
第11回	2010/12/22	Weather	第12回	2011/1/12	Science																																														
第13回	2011/1/19	Finance	第14回	2011/1/26	Newspaper																																														
第15回	2011/2/2	Review	第16回	2011/2/9	定期試験																																														
キーワード																																																			
教科書・教材・参考書	Bill McLain 『Do You Know?』(金星堂、2002年) 1890円 *必ずテキスト本体を入手して出席してください。テキストのない人の受講を認めません。																																																		
成績評価の方法・基準等	教員評価分【定期試験 65%、課題 15%、積極的な授業への参加状況 20%(出席点はありません)】 *一度も本文の内容説明をしなかった人は「積極的な授業への参加状況」の配点が0点となります。】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。																																																		
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。																																																		
本科目の位置づけ/学習・教育目標																																																			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。																																																		

2010 年度 後期	曜日・校時 水3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011020 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Eb) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 総合英語Ⅱ Eb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 古場 なおみ / kobaknke@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室にて授業の前後			
担当教員	古場 なおみ		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
ねらい: (1) 世界からの身近なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2) アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。			
授業方法(学習指導法): 講義形式でテキストを進める。			
到達目標: 国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>第1回 10月6日 自己紹介、授業の進め方、評価等の説明</p> <p>第2回 10月13日 ABC World News 12 Unit 1</p> <p>第3回 10月20日 ABC World News 12 Unit 1</p> <p>第4回 10月27日 ABC World News 12 Unit 3</p> <p>第5回 11月10日 ABC World News 12 Unit 3, 4</p> <p>第6回 11月17日 ABC World News 12 Unit 4</p> <p>第7回 11月24日 ABC World News 12 Unit 6</p> <p>第8回 12月1日 ABC World News 12 Unit 6, 7</p> <p>第9回 12月8日 ABC World News 12 Unit 7</p> <p>第10回 12月15日 ABC World News 12 Unit 8</p> <p>第11回 12月22日 ABC World News 12 Unit 8, 9</p> <p>第12回 1月12日 ABC World News 12 Unit 9</p> <p>第13回 1月19日 ABC World News 12 Unit 10</p> <p>第14回 1月26日 ABC World News 12 Unit 10, 15</p> <p>第15回 2月2日 ABC World News 12 Unit 15</p> <p>第16回目 2月9日 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	ABC World News 12 (Kinseido)		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験 70% 課題、出席、授業への積極的な取り組み等 30%】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011019 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Ed) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) Ed	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 加島 巧 / kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師室 / / 授業終了後の教室			
担当教員	加島 巧		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 下記のテキスト使用し、読解、リスニング、英作文力を付けてゆきます。英語の総合力を伸ばすことを目標としますが、なかでも、正しく読むことを中心に授業を行います。 授業方法(学習指導法): 毎回決められた量のテキスト読み、問題を解いてゆきます。授業の最初には速読対策のプリントでモチベーションを高めます。 到達目標: 1回目のオリエンテーション後の2回目と15回目には同じレベルの英語能力判定テストを実施しますので、まず、自分の英語能力を判定し、半年後の伸びを図って見ます。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 10月6日オリエンテーション 第2回 10月13日英語能力判定テスト 第3回 10月20日 Momofuku Ando (インスタントラーメン王) 第4回 10月27日 Umeko Tsuda (女子教育に捧げた人生) 第5回 11月10日 Steve Jobs (コンピュータと音楽プレーターの変革) 第6回 11月17日 Haruki Murakami (世界は『ノルウェイの森』を歩く) 第7回 11月24日 Soichiro Honda (ホンダは世界を疾走する) 第8回 12月1日 Clarence Saunders (セルフサービス方式のビジネスモデル) 第9回 12月8日 The McDonald Brothers and Ray Kroc (君知るや、マックの由来) 第10回 12月15日 Shigeru Yoshida (サンフランシスコ講和条約) 第11回 12月22日 John Manjiro (中浜万次郎 漁師の倅アメリカへ) 第12回 1月12日 Hideo Nomo (野茂秀雄、大リーガーの開拓者) 第13回 1月19日 Steve Jobs (コンピュータと音楽プレーヤーの変革) 第14回 1月26日 Kyu Sakamoto (上を向いて歩こう) 第15回 2月2日英語能力判定テスト 第16回目: 2月9日: 定期試験			
キーワード	日米の懸け橋		
教科書・教材・参考書	Across the Pacific Ocean (日米の架け橋になった人々) 成美堂 (最初の授業時に教室でテキストを販売します。テキスト代1890円を用意してください。) 必要に応じてプリントを配布します。		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【授業への積極的参加 30% 小テスト 20% 定期試験 50%】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	授業には辞書を持参してください。電子辞書可。授業中の携帯電話の使用は禁止します。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010 年度 後期	曜日・校時 水3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011018 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Ea) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) Ea	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大坪 有実 / r_otsubo@hotmail.co.jp / 非常勤講師控室 / / 水曜日 12:00~12:50 非常勤講師控室			
担当教員	大坪 有実		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:英語の4技能 読む・書く・聞く・話すのうち、読む、書くことに重点を置き、時事問題、文化、音楽、スポーツ、医療と多岐にわたる英文を読み、各トピックが何を訴えているのかまとめ、説明できることを狙いとする。 授業方法(学習指導法):主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。 到達目標:・トピックセンテンスを見つけ、英文を通して何が言いたいのか説明できる。 ・英文読解で解説した熟語表現を応用して、英文を作ることができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 全体は大きく前半と後半からなる。 授業の前半は、既習文法の再確認をしながら英文を精読する。 授業の後半は、前半で読んだ英文を、自分の言葉でまとめる。 第1回 T0月6日 教科書販売 ・ Introduction 第2回 10月13日 The Miracle on the Hudson 第3回 10月20日 Down with Selfishness 第4回 10月27日 Students and Cell Phones 第5回 11月10日 Garmarjobat 第6回 11月17日 Lay Judge System 第7回 11月24日 The Knight of Sudan 第8回 12月1日 America's Game 第9回 12月8日 The Road to the Presidency 第10回 12月15日 The Juzz Funeral 第11回 12月22日 Kenichiro Mogi 第12回 1月12日 Stem Cell Research 第13回 1月19日 "Made in Japan" 第14回 1月26日 Nonviolence for a Better World 第15回 2月2日 Youth 第16回 2月9日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Reading Crystalline 英文読解の総合英語 三修社 ¥1,700+税		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験60点 授業中の課題に対する積極的な取組状況10点 小テスト及び出席状況30点】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	テキストを購入すること。 予習をして授業に参加すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010 年度 後期	曜日・校時 水4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011025 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Tc) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) Tc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 濱崎 大 / mohican007@hotmail.com / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室在中可			
担当教員	濱崎 大		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 日常英会話に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力、判断力、そして応用能力をつけていきます。</p> <p>授業方法(学習指導法): できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。</p> <p>到達目標: 日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>: Unit の内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは健康問題について多く取り上げられている Text ですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要な Skill を Text で習得し、Reference book で補強いたします。</p> <p>第 1 回 10月6日 Introduction 第 2 回 10月13日 Unit 1 Singapore's Love Potion Heads to Markets Overseas 第 3 回 10月20日 Unit 2 Bird Flu May Have Passed Between Siblings 第 4 回 10月27日 Unit 3 Foreign Staff Get OK for Emergency Training 第 5 回 11月10日 Unit 4 Study: Two Languages Help to Keep the Mind Young 第 6 回 11月17日 Unit 5 Experts Will Feed Infected Brains to Cows 第 7 回 11月24日 Unit 6 New Alcohol-Flavored Biscuits Not to Everyone's Taste 第 8 回 12月1日 Unit 7 Study: Tea Drinking May Protect Against Alzheimer's Disease 第 9 回 12月8日 Unit 8 Study: Melatonin May Help Lower High Blood Pressure 第 10 回 12月15日 Unit 9 Fat Kids Singled Out for Extra Exercise 第 11 回 12月22日 Unit 10 Study: Air Worse in Smoky Bars Than on Truck-choked Roads 第 12 回 1月12日 Unit 11 Researchers: Church Candles and Incense Pose Health Risks 第 13 回 1月19日 Unit 12 Fitness: How Much Water Is Enough Curing Exercise? 第 14 回 1月26日 Unit 13 Woman Listed as World's Oldest Person Dies in Puerto Rico at 114 第 15 回 2月2日 Unit 14 Fitness: Losing the Bay Fat with Fitness Classes 第 16 回 2月9日 Final Examination</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Reading from Health and Nutrition News 金星堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【Class Attendance and Participation: 30% Examination: 70%】 平成 22 年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を 80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を 20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の 15 回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より 1 回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011024 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Te) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) Te	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中村 吏花 / arthur410@hotmail.co.jp / 非常勤講師室 / / 水曜昼休み			
担当教員	中村 吏花		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: TOEIC に対応したテキストを使い、数多くの問題を解いて TOEIC に慣れる。 パターン別にその特徴を認識し、解答のコツを掴む。新出語句や表現を習得する。 リスニング・リーディング練習をバランスよく行い、リスニング力・リーディング力の向上を目指す 授業方法(学習指導法): 予習してきた問題の答えを確認する。語句・表現・文法の解説をする。 英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるために、テキスト付属の CD を活用して、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。 到達目標: 英語の基本4技能のうち特にリスニング・リーディングの力を向上させる。 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することが出来る。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CD を活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。 長文問題では、始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。 授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめないときは、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。 *教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。それより遅い入室は欠席扱いとします。			
第1回 2010/10/6 Introduction 第2回 2010/10/13 Daily Life 第3回 2010/10/20 Shopping 第4回 2010/10/27 Restaurant 第5回 2010/11/10 Travel 第6回 2010/11/17 Review 第7回 2010/11/24 People and Professions 第8回 2010/12/1 Office 第9回 2010/12/8 Recruitment 第10回 2010/12/15 Manufacturing 第11回 2010/12/22 Review 第12回 2011/1/12 Marketing 第13回 2011/1/19 Business Finance and Economy 第14回 2011/1/26 Weather Forecast 第15回 2011/2/2 Review 第16回 2011/2/9 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	水本篤『Target on the TOEIC Test Starter』(金星堂、2010年)2100円 *必ずテキスト本体を入手して出席してください。テキストのない人の受講を認めません。		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験50%、小テスト40%、積極的な授業への参加状況10%(出席点はありません)】 *小テストの時に遅刻や欠席をして受けなかった場合は、その回の点数が0点となります。】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 水4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011023 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Tj) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) Tj		科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 加島 巧 / kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師室 / 0.0 / 授業終了後の教室			
担当教員	加島 巧		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 下記のテキスト使用し、読解、リスニング、英作文力を付けてゆきます。英語の総合力を伸ばすことを目標としますが、なかでも、正しく読むことを中心に授業を行います。</p> <p>授業方法(学習指導法): 毎回決められた量のテキスト読み、問題を解いてゆきます。授業の最初には速読対策のプリントでモチベーションを高めます。</p> <p>到達目標: 1回目のオリエンテーション後の2回目と15回目には同じレベルの英語能力判定テストを実施しますので、まず、自分の英語能力を判定し、半年後の伸びを図って見ます。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>第1回 10月6日オリエンテーション 第2回 10月13日英語能力判定テスト 第3回 10月20日 Douglas MacAthur (戦後の日本を方向づけた人物) 第4回 10月27日 Edwin Reischauer (もっとも愛された駐日大使) 第5回 11月10日 William Smith Clark (少年よ大志を抱け) 第6回 11月17日 Matthew Calbaith Perry (黒船、襲来!) 第7回 11月24日 Elvis Presley (世界中を熱狂させたロックンローラー) 第8回 12月1日 Yukichi Fukuzawa (天一人ノ上二人ヲ造ラズ) 第9回 12月8日 Donald Keene (日本文化を世界へ) 第10回 12月15日 Hayao Miyazaki (千と千尋の神隠し) 第11回 12月22日 Momofuku Ando (インスタントラーメン王) 第12回 1月12日 Umeko Tsuda (女子教育に捧げた人生) 第13回 1月19日 Steve Jobs (コンピュータと音楽プレーヤーの変革) 第14回 1月26日 Haruki Murakami (世界は『ノルウェイの森』を歩く) 第15回 2月2日英語能力判定テスト 第16回目: 2月9日: 定期試験</p>			
キーワード	日米の懸け橋		
教科書・教材・参考書	Across the Pacific Ocean (日米の架け橋になった人々) 成美堂 (最初の授業時に教室でテキストを販売します。テキスト代1890円を用意してください。) 必要に応じてプリントを配布します。		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【授業への積極的参加 30% 小テスト 20% 定期試験 50%】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	授業には辞書を持参してください。電子辞書可。授業中の携帯電話の使用は禁止します。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010 年度 後期	曜日・校時 水4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011022 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Ti) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) Ti	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大坪 有実 / r_otsubo@hotmail.co.jp / 非常勤講師控室 / / 水曜日 12:00~12:50 非常勤講師控室			
担当教員	大坪 有実		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 長崎と深いかかわりを持つ幕末の偉人について、また、長崎で医学、薬学、工学がどのように発展していったのかについて学び、各分野の発展のカギとなった着眼点を理解、説明できることをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。 到達目標: ・長崎の造船所設立までの経緯を理解し、説明できるようになる。 ・造船に関する基礎的な概念と専門用語を説明できるようになる。 ・授業で扱った熟語表現を応用し、英作文を作ることができるようになる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 全体は大きく前半と後半からなる。 授業の前半は、速読、精読を通し、英文読解をはかる。 授業の後半は、読解した英文に含まれていた重要英文法・熟語に焦点を当て、その応用として英作文を作る。 第1回 10月6日 教科書販売 ・ Introduction 第2回 10月13日 Dr.Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology(1) 第3回 10月20日 Dr.Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology(2) 第4回 10月27日 Pompe van Meerdervoort (1) 第5回 11月10日 Pompe van Meerdervoort (2) 第6回 11月17日 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 第7回 11月24日 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 第8回 12月1日 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) 第9回 12月8日 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) 第10回 12月15日 The Introduction of Western-style Chemistry and Pharmacy 第11回 12月22日 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings ~ (1) 第12回 1月12日 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings ~ (2) 第13回 1月19日 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings ~ (3) 第14回 1月26日 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings ~ 1856 第15回 2月2日 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings ~ 1861 - 1865 第16回 2月9日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 ￥1,900+税		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験 60点 授業中の課題に対する積極的な取組状況 10点 小テスト及び出席状況 30点】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 木1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011026 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (D16・17) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等)	総合英語Ⅱ (D16・17)	科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 上村 俊彦 / yandi@sun.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-813-5500 / 長崎県立大学シーボルト校上村研究室 (要事前予約)			
担当教員	上村 俊彦		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 1. Content and Language Integrated Learning (CLIL)の理論に基づいた大学レベルの英文テキストを学習する。 2. 英語コミュニケーションの4技能 (reading, listening, Writing, speaking) の向上を目的とした演習を行う。 授業方法(学習指導法): 毎回の授業(クラス活動)を重視します。また、毎回のクラス開始時に前週に学習した内容についてのリスニングを課します。 到達目標: 大意を取りながら英文テキストを読むこと、英語の基本的な構造や出現頻度の高い語彙を用いた英文を聞くこと・話すこと・書くことに習熟する。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) Reading Explorer 3では、文化・科学・社会などの諸領域に関する生の英語を学びます。クラスでは、英文テキストの訳読ではなくて、テキスト全体の大意を取る読み方(Extensive Reading)や音声CDを用いた音読のトレーニングを中心に行います。なお、クラス課題(英文レポート)の提出先として、iPortfolioを使う予定です。 第1回 オリエンテーション、iPortfolioについて、Extensive Readingとは 第2回 U.1 Sport and Fitness 第3回 U.2 Skin Deep 第4回 U.3 Animals in Danger 第5回 U. 4 Violent Earth 第6回 U. 5 Islands and Beaches 第7回 U. 6 Ancient Mysteries 第8回 Review Units 1-6, Mid-Term Test 第9回 U. 7 Global Addictions 第10回 U. 8 Legendary Voyage 第11回 U.9 Stories of Survival 第12回 U. 10 All in the Mind 第13回 U. 11 Art and Life 第14回 U. 12 Medical Challenge 第15回 Review Units 7-12			
キーワード	Extensive Reading, Four Skills		
教科書・教材・参考書	Douglas (2010) Reading Explorer 3 Cengage Learning		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【2回の試験、提出課題(iPortfolio使用)、出席状況等を総合的に検討して評価する。(欠席5回以上は失格) Mid-Term Test 40% Final Test 40% Assignment 20%】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	教材のリスニングパートの録音教材を用いた音読トレーニングが不可欠 G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1																																																
授業コード 20100590011027 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (M14) Comprehensive English II																																																		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301																																																	
対象学生(クラス等) M14	科目分類 外国語科目																																																		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤本 ゆかり / / 非常勤講師室 / 095-819-2078 (全学教育事務室) / 木曜日 12時より																																																			
担当教員	藤本 ゆかり																																																		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標																																																			
<p>ねらい:精選された古典的な英文を通して、英語に親しみながら、文学と西洋思想に触れ、人間と様々な事象について考えを深め、医療を学ぶことに発展させ、或いは新たな視点から人間を捉えていく。著名な作家達の名文の思想に触れ、人生を豊かにし、将来の生き方に役立てる。英語の名文を熟読することにより、難解な英語の理解度を高めると同時に、文学に親しみ、言葉の美しさを味わい、感性を研ぎ澄まし、言語と人間及び思考の関連を考える。文学を学び、深い教養を身に着ける。</p> <p>授業方法(学習指導法):あらかじめ英文の内容と意味を調べてきた上で、それらについての自分の考えや意見、感想、疑問点等を明らかにしておき、授業で発表する。その上で、質問をするので、準備をしておきましょう。英文の解釈と内容の意味、英語の語法や読解の方法の説明を行う。</p> <p>到達目標:英語で書かれた名作に対して関心を持ち、英語で読めるようになる。長文を読むための基本的な能力を養い、さらには応用として、難易度の高い英文を精読し、英語で理解し(読み取り)、英語で考える能力の基本と、豊かな感性を養成することができる。言語(英語と日本語)に対する関心を高める。言葉の美しさと豊かさを再認識する。人生を考察し、人間と生き方について意見を持ち、専門の勉強へと関連付けていく。また、英語の学習に対する意欲を高めるようになる。高い教養を身に着ける。</p>																																																			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)																																																			
<p>作家の生涯について読み、感想を持つ。初めに英文の内容の把握と理解を確認する。音読をして、あらかじめ準備してきた考えや意見を発表してもらう。その際に、互いの意見について、ディスカッションを行う。英文の解釈と内容、作者の思想や意図、及び留意点を、人間および人生との関わりの中で捉え、考えていく。精読の方法や、英語の語法や読解の方法、英文の読み方の指導を行う。言葉についての認識を確かなものにすべく、名文の鑑賞の仕方を伝え、作品に表現される言葉の美しさや深遠な思想を味わう。</p> <p>扱う作品は、人間のすぐれた思想や複雑な心理を表現したものばかりです。殊に、医療や生死がテーマの作品には、関心を持って学び、自らの考えを深めましょう。</p>																																																			
<table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>10月7日</td> <td>導入・授業内容の説明</td> <td>第2回</td> <td>10月14日</td> <td>Lesson 1</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>10月21日</td> <td>Lesson 2</td> <td>第4回</td> <td>10月28日</td> <td>Lesson 3</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>11月4日</td> <td>Lesson 4</td> <td>第6回</td> <td>11月11日</td> <td>Lesson 5</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>11月18日</td> <td>Lesson 6</td> <td>第8回</td> <td>11月25日</td> <td>Lesson 7</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>12月2日</td> <td>Lesson 8</td> <td>第10回</td> <td>12月9日</td> <td>Lesson 9</td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>12月16日</td> <td>Lesson 10</td> <td>第12回</td> <td>1月6日</td> <td>Lesson 11</td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>1月13日</td> <td>Lesson 12</td> <td>第14回</td> <td>1月20日</td> <td>Lesson 13</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>1月27日</td> <td>Lesson 14</td> <td>第16回</td> <td>2月10日</td> <td>定期試験</td> </tr> </table>				第1回	10月7日	導入・授業内容の説明	第2回	10月14日	Lesson 1	第3回	10月21日	Lesson 2	第4回	10月28日	Lesson 3	第5回	11月4日	Lesson 4	第6回	11月11日	Lesson 5	第7回	11月18日	Lesson 6	第8回	11月25日	Lesson 7	第9回	12月2日	Lesson 8	第10回	12月9日	Lesson 9	第11回	12月16日	Lesson 10	第12回	1月6日	Lesson 11	第13回	1月13日	Lesson 12	第14回	1月20日	Lesson 13	第15回	1月27日	Lesson 14	第16回	2月10日	定期試験
第1回	10月7日	導入・授業内容の説明	第2回	10月14日	Lesson 1																																														
第3回	10月21日	Lesson 2	第4回	10月28日	Lesson 3																																														
第5回	11月4日	Lesson 4	第6回	11月11日	Lesson 5																																														
第7回	11月18日	Lesson 6	第8回	11月25日	Lesson 7																																														
第9回	12月2日	Lesson 8	第10回	12月9日	Lesson 9																																														
第11回	12月16日	Lesson 10	第12回	1月6日	Lesson 11																																														
第13回	1月13日	Lesson 12	第14回	1月20日	Lesson 13																																														
第15回	1月27日	Lesson 14	第16回	2月10日	定期試験																																														
キーワード	英語精読力 / 英語で書かれた名文を読む																																																		
教科書・教材・参考書	名文で養う英語精読力 (葉袋善郎: 研究社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。																																																		
成績評価の方法・基準等	<p>教員評価部分【定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。】</p> <p>平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。</p>																																																		
受講要件(履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。																																																		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	<p>英文を読めるようになる。高い教養と素養を身に着ける。人生の考察をして、今後の生き方へと反映させる。</p> <p>英語のリーディング・スキルを向上させる。教養を高める。</p>																																																		
備考(準備学習等)	<p>毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英文の内容を自分で把握しておきます。</p> <p>G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。</p>																																																		

2010年度 後期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011029 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Tb) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) Tb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 勝俣 好充 / / 非常勤講師室 / 095-846-0084 (長崎純心大学) / 3限終了後、教室にて。			
担当教員	勝俣 好充		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 大学において第二言語として英語を学ぶ目的、方法、考え方をあらためて整理・明確化し、これまでの学習の蓄積を俯瞰・統合・活性化することにつとめる。とくに読解におけるスキルの自動化によって論旨把握に重点を置くことができるようになることをねらいとする。受講者はそのためのスキルを主体的に再編・確認することがもめられる。 授業方法(学習指導法): 基本事項を確認した後、テキスト読解を中心に、指名された学生はテキストの当該箇所について発表し、他の学生の質問に答えるというかたちですすめる。 到達目標: 英文読解の基本的なスキルに習熟することによって、300語程度の比較的短い論説文の論旨に意識を集中し、的確に把握することができるようになること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 最初にあらためて英語を学ぶ目的、方法、考え方を整理・明確化することからはじめ、その後、音声、文法、論旨の把握にかんする基本事項を確認し、テキスト演習をとおして、これまでの英語学習の蓄積を統合・活性化していく。授業終了後には、英語習得のスキルとして、みずから編集したレジュメを提出課題とする。そのようにして再確認された英語力によって、期末試験にのぞむことになる。			
第1回 10月7日、英語を学ぶ目的、方法、考え方 第2回 10月14日、音声の基本事項、母音と子音、強勢とリズム 第3回 10月21日、文法の基本事項(1)品詞、句、節 第4回 10月28日、文法の基本事項(2)主部の構造 第5回 11月4日、文法の基本事項(3)述部の構造 第6回 11月11日、論旨の基本事項(1)パラグラフの構造と論旨の展開 第7回 11月18日、論旨の基本事項(2)読む速度と論旨の把握 第8回 11月25日、テキスト演習(1) 第9回 12月2日、テキスト演習(2) 第10回 12月9日、テキスト演習(3) 第11回 12月16日、テキスト演習(4) 第12回 1月13日、テキスト演習(5) 第13回 1月20日、テキスト演習(6) 第14回 1月27日、テキスト演習(7) 第15回 2月3日、まとめ 第16回、2月10日、定期試験。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書はプリントを使用、参考書は随時紹介する。		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【提出課題30%、期末試験70%】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011028 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Ta) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) Ta	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 大里 泰弘 / ms6osatmy@hotmail.co.jp / 非常勤講師室 / / 授業時に要確認			
担当教員	大里 泰弘		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ・基礎英語力の確認 ・TOEIC受験準備 ・実用的コミュニケーションスキルの育成 授業方法(学習指導法): 語彙・文法に関する語学能力増強を目的とした練習を中心に、コミュニケーションタスクを導入する 到達目標: TOEIC頻出のテーマごとに基礎語彙を学習し、リスニングやリーディング練習を行いTOEIC受験の基礎を定着させる。同時に、基本的な自己表現ができるようなコミュニケーション能力の育成を目標とする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) TOEIC Bridge リスニング・セクション, リーディング・セクションの基礎固め 第1回 10/7 Introduction L1 Sample Questions 第2回 10/14 L2 Daily Life 第3回 10/21 L3 Places 第4回 10/28 L4 People & Professions 第5回 11/4 L5 Things around Us 第6回 11/11 L6 Expressing Ideas 第7回 11/25 L7 Action 第8回 12/2 L8 Situations 第9回 12/9 L9 Describing things 第10回 12/16 L10 Company & Business 第11回 1/6 L11 Marketing 第12回 1/13 L12 Education & Others 第13回 1/20 L13 Entertainment 第14回 1/27 L14 Practice Test 第15回 2/3 Expressing ideas- Practicum 第16回 2/10 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Over the TOEIC Bridge TEST Pearson Longman		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【授業時の QUIZ・課題提出, 定期試験を総合的に評価する。】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 金1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011031 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (M12) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) M12	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 石川 昭仁 / ishikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師室 / / メールで要予約 : ishikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			
担当教員	石川 昭仁		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:グローバルな話題を取り上げた英文を教材とし、リーディング、リスニングの力を高める。リーディングではパラグラフ・リーディングに習熟する。リスニングでは、シャドーイングによる内容理解、大意把握ができるようにする。 授業方法(学習指導法):教室でリーディング、リスニング、会話の演習を行うが、教材CDを利用してシャードウイング、リスニング等の授業外の学習が求められる。 到達目標:1 比較的長い時事的な英文の速読と内容把握に習熟する。 2 英語の語彙を増強する。 3 シャドーイングによる英語学習法を身につける。 4 リスニングによる内容に習熟する。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第1回 2010/10/1 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Fine Dining in France 第2回 2010/10/8 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Chinese New Year Food- A Celebration of Life 第3回 2010/10/15 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Indian Cooking - As Diverse as India Itself 習問題・会話 第4回 2010/10/22 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Ken Watanabe: The "New Samurai" Cutting His Way into the World 第5回 2010/10/29 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 At War in Africa 第6回 2010/11/5 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Anger Takes Hold in the Netherlands 第7回 2010/11/12 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 apanese Automobile Manufacturers Bolster U.S. Economy 第8回 2010/11/26 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 The Plight of Elephants in Thailand 第9回 2010/12/3 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 A Pacemaker for the Stomach? 第10回 2010/12/10 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Godzilla Conquers America 第11回 2010/12/17 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 David Beckham: The REAL Star Forward 第12回 2010/12/24 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Maria Sharapova: The Queen of the Court 第13回 2010/1/13 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Living in the 21st Century: Our Daily Bread 第14回 2010/1/21 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Domo Domo Paradise: "Train Jungle" 第15回 2010/1/28 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 What Do You Say? -At an MLB Game 第16回 2月4日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Catch the World: 4 : Voyager (Macmillan Language House) 2310 円		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分 【期末試験: 60% 小テスト: 40%】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 金1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011030 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (M11) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) M11	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 俊明 / t-nishi@nagasaki-u.ac.jp / / 095-819-2095 / 火曜日 12:50~13:30 他は、only by appointment			
担当教員	西原 俊明		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。 授業方法(学習指導法): 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。 到達目標: 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。 第1回 10月1日 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明 第2回 10月8日 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1) 第3回 10月15日 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2) 第4回 10月22日 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3) 第5回 10月29日 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4) 第6回 11月5日 弱く発音される音、医者と患者の会話(5) 第7回 11月12日 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、 第8回 11月26日 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5)、速読(2) 第9回 12月3日 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、医者と患者の会話(6) 第10回 12月10日 グループによるディスカッション(1)、速読(3) 第11回 12月17日 なくなる音、医者と患者の会話(7)、速読(4) 第12回 12月24日 ひとつになる音、インフォメーションギャップによるペアワーク(3) 第13回 1月7日 つながる音、医者と患者の会話(8)、速読(5) 第14回 1月21日 医者と患者の会話(9)、速読(6) 第15回 1月28日 Review			
キーワード	医学英語、音変化、速読		
教科書・教材・参考書	Medical English Clinic、及びプリント教材。		
成績評価の方法・基準等	教員評価分【まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。また、まとめテストは、2回実施する。】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	毎回、復習を行うこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。 基礎的な医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。		
備考(準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を必ず復習すること。 G-TELP のテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010 年度 後期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011036 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Th) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) Th	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山田 健太郎 / k-yamada@sun.ac.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	山田 健太郎		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
ねらい:リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。			
授業方法(学習指導法):具体的には、英文学習雑誌 English-Plus の中から、比較的短くて読みやすいエッセイを選び、1回の授業で1エッセイを読む。これとは別に TOEIC の練習問題を毎回して、目標を意識した学習を心がける。ディクテーション・テストも組み入れてリスニング力も強化する。			
到達目標:TOEIC450点程度の英語力			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
英語力鍛錬のため、毎回英英辞典を使ったクイズ、課題エッセイについての英問英答、TOEIC 対策テキストを数ページする。数回おきにテキスト指定箇所のディクテーションテストを行なう。適宜実力テストを実施する。			
第1回 10/1 第1回 オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について)			
第2回 10/8 第2回 エッセイ1 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 1, 2			
第3回 10/15 第3回 エッセイ2 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 3, 4			
第4回 10/22 第4回 エッセイ3 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8			
第5回 10/29 第5回 エッセイ4 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 9, 10			
第6回 11/5 第6回 エッセイ5 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 11, 12			
第7回 11/12 第7回 エッセイ6 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 13, 14 ディクテーションテスト			
第8回 11/26 第8回 エッセイ7 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 15, 16			
第9回 12/3 第9回 エッセイ8 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20			
第10回 12/10 第10回 エッセイ9 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 21, 22 ディクテーションテスト			
第11回 12/17 第11回 エッセイ10 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 23, 24			
第12回 12/24 第12回 エッセイ11 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 25, 26			
第13回 1/7 第13回 エッセイ12 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 27, 28 ディクテーションテスト			
第14回 1/21 第14回 エッセイ13 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 29, 30, 31, 32			
第15回 1/28 第15回 エッセイ14 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 33, 34, 35, 36			
第16回 2/4 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	English-Plus (採用ナンバーは後日決定する) 『新 TOEIC Test 文法・リーディング対策 中級問題集』松柏社		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験60%、小テスト20%、積極的な授業への参加度20%】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011035 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Tg) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 1 2 4	
対象学生(クラス等) Tg	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤本 ゆかり / / 非常勤講師室 / 095-819-2078 (全学教育事務室) / 毎週金曜日 14時30分より			
担当教員	藤本 ゆかり		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 専門である工学を英文で学ぶことにより、学習意欲を高め、英語の総合的な能力を伸ばし、リーディングとリスニングの力を身に付ける。工業デザインの英文を読み、専門英語としての工業英語の基礎を、興味を持ちながら習得する。英語で書かれた長文を理解して読めるようになる。また、工学を学ぶ上で、デザインや建築物及び美学に対する興味と関心を深める。さらに、TOEICテストについて目標を定める。</p> <p>授業方法(学習指導法): 予習を充分に行ってきた上で、英文を読み、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようにする。テキストの練習問題により、説明と指導をしながら、語彙と文法事項の定着を図り、リスニングの能力を養う。工業デザイン、建築、芸術、文化、時代背景、デザイナー等についての示唆を与える。</p> <p>到達目標: 専門英語としての工業英語を覚え、工業デザインについて書かれた英文を読み、その意味を正確に理解して、またその内容を説明できる。デザインや建築物に対する興味や関心を高め、それらについて考察し、自分の考えを持つようになり、将来の研究に備える。語句や文法事項の基礎的な力を確認し、さらにリーディングとリスニングの応用力を伸ばすことができる。英語で書かれた長文を読めるようになる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>十分な予習を前提とした上で、テキストの英文を精読や速読を行い、内容を確認していきながら、文章の内容を正確に理解するべく、語句や文法事項、及び英文読解の方法や技術を指導します。英文の内容の理解が出来ていることを示すために、毎回発表をしてもらいます。その中で、専門的な知識を説明することとします。英文の読解力を高めることと、専門的な英語を習得することを目標とします。本文の内容理解をチェックするための練習問題を解き、その中で語彙や文法事項、またリスニングの指導と解説をします。デザインや文化等について、考察します。テキストはそれ自体美しく、特色あるもので、その内容の多彩さには関心を惹かれることでしょう。世界に冠たる名品の数々は、名立たるデザイナーによる優れたデザインによって、世紀を越えて世界中で愛され続けています。それらの作品を鑑賞しながら、デザインの秀逸さや魅力を検証します。日頃から芸術や文化に触れ、デザインの美しさについて、感性を養い、自分の意見を持ちましょう。テクノロジーの益々の発達にともない、これからはさらにデザイン芸術が重要となるでしょう。優れたデザイナーの中には、建築家出身も多いことから、皆さんも、専門の研究と関連付けて考えてください。</p> <p>第1回 10/1 導入・授業内容の説明 第2回 10/8 Chapter 2 Coca-Cola Bottle 第3回 10/15 Chapter 1 Ford Model T 第4回 10/22 Chapter 3 Juicy Salif Lemon Squeezer Chapter 10 Bird Kettle 第5回 10/29 Chapter 4 Leica Camera 第6回 11/5 Chapter 5 Harley-Davidson Motorbike 第7回 11/12 Chapter 6 Le Corbusier Chairs (その他の椅子) 第8回 11/26 Chapter 9 Chrysler Building 第9回 12/3 Chapter 12 Chanel No.5 第10回 12/10 Chapter 13 Swatch Watch 第11回 12/17 Chapter 14 Guggenheim Museum Bilbao 第12回 12/24 Chapter 15 PH Lamp (その他の照明) 第13回 1/7 Chapter 16 Casa Batllo 第14回 1/21 Chapter 19 McDonald's Fast Food Pack 第15回 1/28 Chapter 20 Apple iMac 第16回 2/4 定期試験</p>			
キーワード	工業デザイン / 名品のデザイン / 建築物 / 美しさとは何か		
教科書・教材・参考書	Design Makes the World Go 'Round (Jamie West : センゲージラーニング) 英和辞書(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	<p>教員評価部分【定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。】</p> <p>平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。</p>		
受講要件(履修条件)	授業は全ての回に出席することを期待します。必ず予習を行って参加しましょう。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	専門である工学を英語で学び、工業デザインや建築に対する興味を深め、将来の研究と結びつける。リーディングスキルを向上させる。デザインに関する知識を得る。		
備考(準備学習等)	<p>授業には、毎回必ず予習・復習をして臨みましょう。</p> <p>英単語等の意味を予め調べ、テキストの大意を自分で掴んでおきます。</p> <p>G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。</p>		

2010年度 後期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011034 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Kb) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) Kb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 濱崎 大 / mohican007@hotmail.com / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室在中可			
担当教員	濱崎 大		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 日常英会話に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。 授業方法(学習指導法): できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。 到達目標: 日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) Unit の内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは環境について多く取り上げられている Text ですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要な Skill を Text で習得し、Reference book で補強いたします。			
第 1 回 10月1日 Introduction 第 2 回 10月8日 Unit 1 Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them 第 3 回 10月15日 Unit 2 "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source 第 4 回 10月22日 Unit 3 Offices Use Ice to Cool Down and Save Power 第 5 回 10月29日 Unit 4 Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's 第 6 回 11月5日 Unit 5 Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property 第 7 回 11月12日 Unit 6 College Students Feel Better after Screaming Together 第 8 回 11月26日 Unit 7 Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers 第 9 回 12月3日 Unit 8 Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales 第 10 回 12月10日 Unit 9 Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water 第 11 回 12月17日 Unit 10 Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies 第 12 回 12月24日 Unit 11 African Farmers Seek Ways to Survive Droughts 第 13 回 1月7日 Unit 12 Fruity Cocktails May Be Good for Health 第 14 回 1月21日 Unit 13 Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate 第 15 回 1月28日 Unit 15 Panned Chinese City Wants All Eco-Friendly Power 第 16 回 2月9日 Final Examination			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Healing Our World 南雲堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英) 教材: 英語共通テスト (G-TELP) 費用 750 円		
成績評価の方法・基準等	担当教員評価[Class Attendance and Participation: 30% Final Examination 70%] 平成 22 年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を 80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を 20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	※環境科学部総合英語Ⅱは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを 1 回目実施しますので、かならず 1 回目の授業に出席してください(1 回目は、前期と同様に、Kb のクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2 回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、金の 3 校時のどちらかのクラスになります(英語コミュニケーションは、従来どおりのクラスです)。		
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の 15 回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より 1 回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011033 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Tf) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) Tf	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 橋本 高明 / / 非常勤講師控室 / 緊急の場合は全学教育事務室へ / 金曜日昼休み			
担当教員	橋本 高明		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: この授業科目では、以下に示す技能の習得をめざす。 1) 英語文中の構成素の文法的役割とそれらのあいだの修飾関係を正確に理解する。 2) 英語文構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現するメタ言語訳を作る。 3) メタ言語訳中の構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現する英語文を作る。 4) 各段落中の topic sentence を同定する。 5) 記事全体の構成の中での各段落の役割および段落間の関係を理解し、説明する。 授業方法(学習指導法): 各週の授業では、自然科学に関わる平易な記事を読み、音読により発音練習し、記事の英文の構造を正確に理解して日本語を用いたメタ言語訳を作る。また、記事の各段落について topic sentence を見つけ、記事全体の中でそれぞれの段落がどのような役割を果たしているか、段落間にはどのような関係があるかを判定する演習を行う。履修者は、各週の記事・練習問題をかならず予習し、発表準備をして授業に臨むこと。 到達目標: 上記「授業のねらい」の技能(1)~(5)について、担当教員の評価で 60%以上適切と評価される水準の言語技能を運用できるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 15回の授業を行い、16回目授業校時(2月4日)に期末試験を行う。 第1回 10月1日 授業の内容・方法の説明、penmanship プリテスト、文法プリテスト 第2回 10月8日 Unit 1: Bioplastics (1) 第3回 10月15日 Unit 1: Bioplastics (2) / Unit 2: Dandelions (1) 第4回 10月22日 Unit 2: Dandelions (2) 第5回 10月29日 Unit 3: Superbug Produces Ethanol (1) 第6回 11月5日 Unit 3: Superbug Produces Ethanol (2) / Unit 5: Electric Cars and Fuel Cells (1) 第7回 11月12日 Unit 5: Electric Cars and Fuel Cells (2) 第8回 11月26日 復習1、中間試験 第9回 12月3日 Unit 7: Wetlands in the Netherlands (1) 第10回 12月10日 Unit 7: Wetlands in the Netherlands (2) / Unit 9: Aluminum and the Environment (1) 第11回 12月17日 Unit 9: Aluminum and the Environment (2) 第12回 12月24日 Unit 14: Solar Box Cookers (1) 第13回 1月7日 Unit 14: Solar Box Cookers (2) / Unit 16: Super Rice (1) 第14回 1月21日 Unit 16: Super Rice (2) 第15回 1月28日 復習2 第16回 授業校時(2月4日)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書：Nishimoto, Fumio. VOA Science for Today. Tokyo: Kinseido, 1996. 参考書：小野経男『チャート式新英文法』東京：数研出版，1990.		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【この授業を履修して単位取得するためには、上記「授業のねらい」の(1)~(5)の技能について、担当教員の評価基準で、少なくとも 60%以上適切とされる水準の言語技能を習得しなくてはならない。技能(1)および(2)、(4)、(5)についてはおもに授業発表を通して評価を行う。技能(1)および(3)については 2 回の筆記試験を通して評価を行う。成績は、原則として、2 回の試験の評価を最終評価の 80%、授業発表、宿題、提出物の評価を最終評価の 20%とする。正当な理由なく 6 回以上欠席した者は期末試験受験資格を失う。】 ※平成 22 年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を 80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を 20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)	※宿題、その他の提出物を遅れて提出することは認めない。授業にはかならず辞書、教科書、筆記具、配布済みのハンドアウトを持参すること。やむを得ない事情(期末試験を欠席した場合に追試験が認められるような理由)で欠席した場合、公欠扱いを希望する者は、理由を明記した欠席届とやむを得ない理由を立証する証明書類(あるいはその複写)を提出すること。公欠扱いにならない理由で中間試験を欠席した場合には、中間試験を 0 点扱いとする。※G-TELP のテストは、原則として授業の 15 回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より 1 回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011032 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Ka) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) Ka	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー メリッサ マカララド / Melissa Ramos Macalalad/cgsatuito@aqr.bbiq.jp / 非常勤講師室 / 095-883-4228 / By appointment			
担当教員	メリッサ マカララド		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: This is a comprehensive course designed to improve students' English reading and comprehension skills, increase their vocabulary, enhance their listening ability and boost their TOEIC scores. 授業方法(学習指導法): This course will take up all fifteen (15) units of the textbook which present actual present-day news articles related to relevant health and environmental issues from various countries all over the world. The articles consist of about 200 to 250 words, a 到達目標: By the end of this course, students would be more competent in reading and understanding written English, and would have gained a higher degree of competence in various aspects of the English language.			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ※環境科学部総合英語Ⅱは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを1回目に実施しますので、かならず1回目の授業に出席してください(1回目は、前期と同様に、Kaのクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、金の3校時のどちらかのクラスになります(英語コミュニケーションは、従来どおりのクラスです)。 This course covers all fifteen (15) units of the textbook which is supplemented by a CD, to be used for listening practice in class. 第1回 Unit 1: Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them 第2回 Unit 2: "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source 第3回 Unit 3: Offices Use Ice to Cool Down and Save Power 第4回 Unit 4: Study: Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's 第5回 Unit 5: Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property 第6回 Unit 6: College Students Feel Better after Screaming Together 第7回 Unit 7: Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers 第8回 Unit 8: Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales 第9回 Unit 9: Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water 第10回 Unit 10: Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies 第11回 Unit 11: African Farmers Seek Ways to Survive Droughts 第12回 Unit 12: Study: Fruity Cocktails May Be Good for Health 第13回 Unit 13: Rising Seas May force Island Nations to Evacuate 第14回 Unit 14: Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating 第15回 Unit 15: Planned Chinese City Wants All Eco-Friendly Power 第16回 Final Exzm			
キーワード	Pre-reading, Reading and Post-reading Exercises		
教科書・教材・参考書	Healing our World - Today's Health and Environment News 教科書は第一回目の授業時に教室にて販売します。 教材: 英語共通テスト (G-TELP)費用 750円		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【Class Participation: 40% Final Exam: 60%】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011039 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (M13) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) M13	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山田 健太郎 / k-yamada@sun.ac.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	山田 健太郎		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。 授業方法(学習指導法): 具体的には、英文学習雑誌 English-Plus の中から、比較的短くて読みやすいエッセイを選び、1回の授業で1エッセイを読む。これとは別に TOEIC の練習問題を毎回して、目標を意識した学習を心がける。ディクテーション・テストも組み入れてリスニング力も強化する。 到達目標: TOEIC450点程度の英語力			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 英語力鍛錬のため、毎回英英辞典を使ったクイズ、課題エッセイについての英問英答、TOEIC 対策テキストを数ページする。数回おきにテキスト指定箇所のディクテーションテストを行なう。適宜実力テストを実施する。 第1回 10/1 第1回 オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について) 第2回 10/8 第2回 エッセイ1 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 1, 2 第3回 10/15 第3回 エッセイ2 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 3, 4 第4回 10/22 第4回 エッセイ3 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8 第5回 10/29 第5回 エッセイ4 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 9, 10 第6回 11/5 第6回 エッセイ5 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 11, 12 第7回 11/12 第7回 エッセイ6 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 13, 14 ディクテーションテスト 第8回 11/26 第8回 エッセイ7 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 15, 16 第9回 12/3 第9回 エッセイ8 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20 第10回 12/10 第10回 エッセイ9 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 21, 22 ディクテーションテスト 第11回 12/17 第11回 エッセイ10 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 23, 24 第12回 12/24 第12回 エッセイ11 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 25, 26 第13回 1/7 第13回 エッセイ12 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 27, 28 ディクテーションテスト 第14回 1/21 第14回 エッセイ13 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 29, 30, 31, 32 第15回 1/28 第15回 エッセイ14 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 33, 34, 35, 36 第16回目 2/4 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	English-Plus (採用ナンバーは後日決定する) 『新 TOEIC Test 文法・リーディング対策 中級問題集』松柏社		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験 60%、小テスト 20%、積極的な授業への参加度 20%】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011038 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (Td) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) Td	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー ペー シュウキョー / / 非常勤講師室 / /			
担当教員	ペー シュウキョー		
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>ねらい:健康や環境を中心とした英語のニュース記事を読み、また関連するニュースを聞いた上で、自分の考えを話したり、コメントを書いたりすることで、各種スキルを向上させる</p> <p>授業方法(学習指導法):授業は毎回一 Unit ずつ進む。授業のねらいに沿って、毎回各種の活動を取り入れる。</p> <p>到達目標:英語のニュースを読んだり聞いたりして、理解した上で、その内容について自分の意見やコメントを英語で簡潔に表現できるようになる</p> <p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>第 1 回 10月1日 オリエンテーション 第 2 回 Unit 2 "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source 第 3 回 Unit 3 Offices Use Ice to Cool Down and Save Power 第 4 回 Unit 4 Study: Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's 第 5 回 Unit 5 Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property 第 6 回 Unit 6 College Students Feel Better After Screaming Together 第 7 回 Unit 7 Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers 第 8 回 Unit 8 Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales 第 9 回 Unit 9 Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water 第 10 回 Unit 10 Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies 第 11 回 Unit 11 African Farmers Seek Ways to Survive Droughts 第 12 回 Unit 12 Study: Fruity Cocktails May Be Good for Health 第 13 回 Unit 13 Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate 第 14 回 Unit 14 Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating 第 15 回 Unit 15 Planned Chinese City Wants All Eco-Friendly Power 第 16 回 2月4日 Final Exam</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書 : Healing Our World Today's Health and Environment News (南雲堂出版) 教科書は第一回目の授業時に教室にて販売します。		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【Participation 30% Homework 30% Final Exam 40%】 平成 22 年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を 80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を 20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	英英辞典(電子辞書可)を持参すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の 15 回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より 1 回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

2010年度 後期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590011037 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅱ (M15) Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) M15	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 池田 俊也 / t-ikeda@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部本館 6階 (621号室) / 819-2092 / 在室時随時			
担当教員	池田 俊也		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ①総合英語Ⅰで習得した総合的な英語の力をさらに伸ばすこと。とりわけ、reading,writing, listening, speaking の4技能のうち、reading と listening に重点を置く。 ②reading 指導では、内容に応じて、'bottom up' と 'top down' の読解法理論の実践を行う。 ③listening 指導では、毎回行う小テストで聴解力の向上を目指し、同時にコールシステム活用を喚起する。 授業方法(学習指導法): ①内容に応じて、'paragraph reading' による速読の訓練を行う。内容としては科学的なエッセイを読むが、Unit 毎の内容理解の確認を練習問題を通して行う。読解の要点は学生各自の発表の形でやってもらう。 ②あわせて、listening では毎時間小テストを行い、聴解力向上を図る。 到達目標: ①要点を的確につかみ取る英語読解力と英語聴解力を身につけること。 ②コールシステムなどの機材を活用して、自学への積極性を持つようになること。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 授業の概要説明。クラスで学ぶことなど。 以下の大まかな順番で授業を進める。①は読解テキストの内容、②は聴解テキストのトピック。 10月1日: 地上の生命について考える(1) ①Early Life on Earth ②数字を聞き取ろう 第2回 10月8日: 地上の生命について考える(2) ①Why Did Dinosaur Become Extinct? ②株式市場 第3回 10月15日: 地上の生命について考える(3) ①The end of Civilization ②分数 第4回 10月22日: 生物の淘汰と適応について考える(1) ①Sex Change? ②大きな数 第5回 10月29日: 生物の淘汰と適応について考える(2) ①Invazive Species ②時間を聞き取る 第6回 11月5日: 生物の淘汰と適応について考える(3) ①Man's Best Friend ②一日の生活 第7回 11月12日: 病について考える(1) ①Prions ②公共交通 第8回 11月26日: 病について考える(2) ①Autism ②図の説明 第9回 12月3日: 病について考える(3) ①Blood Disasters ②勉強部屋の説明 第10回 12月10日: 環境の問題を考える(1) ①Fresh Water Crisis ②台所 第11回 12月17日: 環境の問題を考える(2) ①Ecotourism ②シンボルマーク 第12回 12月24日: 環境の問題を考える(3) ①Sustainability ②化粧部屋 第13回 1月7日: 未来に向かって(1) ①Biofuels ②アパート探し 第14回 1月21日: 未来にむかって(2) ①Alternative Energy ②パーソナルカード 第15回 1月28日: 未来に向かって(3) ①Toxic Waste ②時間割 第16回目 2月4日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	①永田博人 他、Science Views, 成美堂 ②J.M. Vardaman, Facts and Figures, 松柏社		
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【期末筆記試験・小テストの結果(90%)と授業中の発表・授業への取り組み方(10%)など総合的に評価する。】 平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	G-TELP のテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		

